

# 2月号パラパニュース

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2-4F

電話：03-6229-5423、FAX：03-6229-5420

メール：jppf.jimu@gmail.com

ホームページ：<http://jppf.jp/>

## □ 合宿

12月、1月東京、京都で合宿が続いています。東京パラまで二年を切って、選手一同も、参加に気持ちが入ります。また、ガバナンスが大切と言うことで弁護士さんに、連盟選手、役員別にガバナンス研究をしていただきました。



# 対談、特別講座、パラパワー選手の活動が 大きく報道されました。

## 駒澤大学 学長課外特別講座 東京2020オリンピック・パラリンピック〜共生社会と大学〜

本日は第2回駒澤大学学長課外特別講座にご参加いただきありがとうございます。この日の講師は、2020年に東京で五輪・パラリンピックが開催される中、1964年大会以来、東海近畿圏などの社会インフラの整備、経済成長、スポーツ普及などさまざまな課題が社会に大きく刻み込まれています。その中でも、国際情勢、情報化や高齢化、少子高齢化など、多岐にわたる課題が浮き彫りになり、共生社会の構築が求められています。本日は、共生社会の構築に向けて、大学が果たすべき役割について、学長と対談し、特別講座を行います。

駒澤大学学長 長谷部八朗氏



はせべ・はちろう 駒澤大学学長。昭和49年、慶應義塾大学。平成8年、駒澤大学助教授に就任。14年から同大教授。29年4月から現職。日本学術会議常務理事、日本山岳会連合会会長。

駒澤大学(東京都世田谷区、長谷部八朗学長)で10月17日、2020年東京五輪・パラリンピックを契機とした社会の発展に大学、学生がどのように貢献すべきかを考える「学長課外特別講座」が開催された。この日は大会組織委員会の橋本聖子理事が「大会の多様性と調和」をテーマに基調講演を行い、平昌パラリンピック、アルペンスキー女子座金メダリストの村岡桃佳選手らが参加したパネルディスカッションも行った。共生社会実現に向けて意見が交わされた。学長課外特別講座は4月に続き2回目。(コーディネーター＝石元悠生・産経新聞編集局ソリューション室長)

### 史上最高の「変革」

パネルディスカッション  
アルペンスキー女子座金日本代表 村岡桃佳氏

村岡桃佳氏  
アルペンスキー女子座金日本代表。2018年平昌パラリンピックで、アルペンスキー女子座金メダルを獲得した。共生社会実現に向けて意見が交わされた。

橋本聖子氏  
2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会理事、参院議員。共生社会実現に向けて意見が交わされた。

馬島誠氏  
パラパワーリフティング選手、元パラアイスホッケー日本代表。共生社会実現に向けて意見が交わされた。

国のおあ

多様な要素が調和できる社会に  
本日の講座では、パラリンピックに関する深い、素晴らしい方々にお話を伺いたい。共生社会の構築に向けて、大学が果たすべき役割について、学長と対談し、特別講座を行います。

パラ大会に足を運んでほしい  
ソフト面でのバリアフリーを

## 「パラパワーリフティング」に挑戦

### 60kgのバーベル美しく上げた 香取さん

パラスポーツには、健常者の記録を超える競技がある。足に障害のある選手が上半身の力でバーベルを持ち上げるパラパワーリフティングはその一つだ。たとえば西崎さんの階級より1階級重い男子59kg級の世界記録は211kg。ほぼ同じレベルで健常者の記録171kgを上回っている。香取さんがまず注目したのも、この点だった。

体の機能の一部が失われているのに、なぜ健常者を超えるの？  
西崎さんが理由を語る。  
僕は足の感覚がない分、上半身に意識をより集中させやすいという利点がある。パラアスリートは実は強いんです。  
フォームの「美しさ」が重要だ。香取さんもベンチプレス台に横になり、20kgから順に挑戦した。西崎さんに肩甲骨で台を押さえること、腕の力をバーに伝えやすいひじの角度を教わった。  
西崎さんがたずねた。  
「目標をどこに置きましたか？」  
香取さんが答える。  
「天井を見ました。」



パラアスリート 実は強いんです 西崎さん

2年後の東京パラリンピックに向

## □ パラパワーの応援



東京都の観戦促進事業、チームビヨンドチームが、パラパワー（この日は、他にウィールチェアラグビーも参加）を試合で盛り上げるのはどうしたらよいか、考える会、を開催。

- ① 写真左、左上、たとえば「チアガール」とか、「青空応援団」なかなかいいぞ！チアガールは昨年全日本で応援してくださった。チャレンジカップでは青空応援団をお願いしてみよう？！。
- ② 写真左下、パラパワー競技を説明した後、グループに分かれて、どんな応援が良いか、皆で、議論。
- ③ 写真下。考えた結果を発表



2月24日模擬試合をして、パラパワーの応援合戦を企画立案。さて、どんな、応援が出てくるか！！

